

【福祉教育ガイドブック「福祉にタッチ」について】

こんな想いで作りました



障がいのある人と出会った時に“はじめの一歩”を踏み出せる地域づくりを目指し、「思いやりを行動へ」移せるように、この冊子を作りました。

作るにあたっては、障がいのある人や支援する団体の皆さんと話し合いまとめました。

学校や地域など幅広い年齢層の学びのガイドブックとして、活用して欲しいです！

ふだんのくらしをしあわせに



地域には、性別や年齢、障がいのある人もない人も、様々な人がいます。みんなが互いの考え方、生き方を尊重して共に支え合っていく社会が「共生社会」です。障がいの有る無しにかかわらず、すべての人が共に幸せに暮らすことができる地域（社会）の実現のために取り組むことが「ふ・く・し」です。

サポートの仕方は人それぞれ



人にはそれぞれ、得意と不得意、できることとできないことがあります。それらは、個人の成長・体調・環境の変化によって、ずっと変化し続けます。障がいの程度やサポートの仕方も人によって様々です。周りの環境を整えたり、サポートをしたりすることで、できるようになることがあります。お互いが支えあい、共に暮らしやすくするための働きかけをする考え方を合理的配慮といいます。

「差別」をなくそう

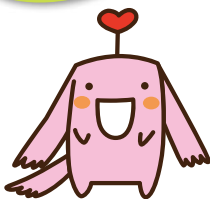


障がいのある人への差別に気づき、それをなくしていくためには、社会全体で取り組むことが大切です。

平成28年4月、「障害者差別解消法」が施行されました。この法律では、差別の解消のため、禁止事項や問題解決のための仕組み、合理的配慮について定めています。

「差別」に気づくためには、障がいのある人が利用しにくい道路や建物などの環境、障がいのある人を偏った目で見たり、嫌ったりするような気持ちや考えを見直し、変えていくことが必要です。

この冊子に登場する新発田市社会福祉協議会イメージキャラクターほのぼの福祉一家をご紹介します。



うーさん



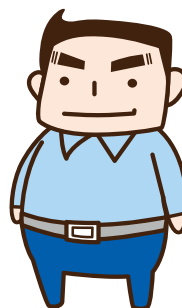
さくらちゃん



あやめ
おかあさん



れんくん



じょうたろう
おとうさん



うめ
おばあちゃん



やすべえ
おじいちゃん

※聴覚に障がいがあります